

【実家暮らしは金持ちになりやすい？】

「マレーシアの大家族制度と、  
日本の核家族制度について考える！」

⇒編集後記で

~~~~~

どうもゆうです！

こんばんは。

さて、昨日は

以下の音声をお渡ししましたがすごい

反響ですね～

日本では、政治哲学って意味が分からないって思う人のほうが

多いと思うんですが

実は・・・こういう

「そもそも国民の3大義務って多くの先進国にはないのに

なんで日本にはあるの？」

というところまで突っ込むために発展したのが

政治哲学なんですね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【ゆう音声♪】なぜアメリカには国民の3大義務がないのか？**

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/us\\_sandaigimu/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/us_sandaigimu/)

**(音声MP3ですのでスマホでもお聞きいただけます♪  
また音質も調整してるので聞きやすくしております～)**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今は現状、こういうことを言うこと、話すこと、事態が  
頭おかしい、とか、変な人といわれるのが日本の状況だと

思うのですが、

やはりこういう根本的なことを考えることが  
大事なのだろう、というのが私の考え方です。

というのが以前にこういう号も流しておりますが

バックナンバー

【30～40代で「貯金100万円以下」の割合は  
60%超え、という現実について考える】

<https://04auto.biz/brd/BackNumber.htm?>

[acc=yuchan&bid=1&YM=201909&MID=1957#1957](https://04auto.biz/brd/BackNumber.htm?acc=yuchan&bid=1&YM=201909&MID=1957#1957)

**根本や本質を考えないまま、**

**もう私たち日本人は何十年も経過したわけですが**

**その結果、みんな官僚の方々が意図したとおり**

**どんどん貧しくなっているわけですね。**

**それでまず本来の考え方として**

**「近代国家の憲法ってのは国民が守る義務はない」**

**っていうのがあるわけです。**

**これこそ学校では絶対教えませんよね。**

これはたぶんびっくりしますよね？

けど本来の近代デモクラシーにおいては

憲法ってのはいわゆる

民衆の権利章典のようなものですから

そこで民衆は当然義務を課せられないし、

ましてや憲法を守る義務なんて本来はないわけです。

そこで

「じゃあ憲法は誰が守らなければいけないの？」

って話になるけど

そう、それが「公務員は憲法を守らないといけない」

となる。

だから「民衆、国民が官僚や政治家たちに

命じる命令書」みたいな性格を持つてるのが

憲法です。

特にこれは憲法99条に書いてますが

『天皇又は摂政及び国務大臣、

国会議員、裁判官その他の公務員は、

この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。』

とまで書いてまして

ここで「義務」とかいてますよね。

ここに「国民」は入っていません。

こんな大事なことを、私たちってのは子供時代に

官僚の方々に不都合であるから、

義務教育で故意に、意図的に教えられていない、のが

分かると思いますが、

この辺は以前に書いたPDFでも詳しく書いてますね～

## PDFレポート

【なぜアメリカには「国民の3大義務がない」のか？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_sandaigimu.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_sandaigimu.pdf)

それで今回はそのあたりについて

音声のほうが分かりやすいって言う人もいるだろうから

音声でも話しまくってますので、

ちょっと30分くらいで録音しようとおもったら

**結構 基礎の政治学の説明が必要な**

深いテーマなので1時間近くの音声になってしまいましたが

まずマスコミや大手動画サイトなんかでは





さて、それで私たちなんかに必要なのは

既存の常識自体がおかしいのではないか？

私たちの幸せに沿ったものなのか？

と言うことを考えることだと思うのですが、

私なんかが最近マレーシアに住んでいて感じること

なのですが

「どうも実家暮らしの人たちのほうが生活が裕福で

幸せそうだ」

ってことです。

これはこの1、2年、日本のネットなんかでも  
徐々に言われだしてるある種真実なんだけど、

「実家暮らしがお金が一番たまる」なんてのは  
よく知られてる話です。

実はどうも、家庭とか家族っていう考え方自体でも、  
日本では「分断して統治せよ」ってのが戦略として  
取り入れられてる可能性は高いのですね。

今日はその辺について考えていきたいと思います！

編集後記で！



PDFレポート

(写真35枚) アジア最大級モールの

「ワン・ウタマモール」の中には

「森と滝」がある! ?

<http://fxgod.net/pdf/oneutama.pdf>



【資本主義下の『お金の増やし方』】

についての音声 MP3

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/okanenofuyashikata.mp3>

(MP3 音声なのでスマートフォン等でも再生できると思います。  
30分くらい)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**<新> スーパー重要? ニュースかも。**

**PDFレポート**

**【実はアメリカは「実質のQE4」を9月から**

**「こっそり」再開している、という話】**

**[http://fxgod.net/pdf/qe4\\_omo.pdf](http://fxgod.net/pdf/qe4_omo.pdf)**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



PDFレポート

【(FXで)「損きりにやたら引っかかるんです・・・」  
という悩みについて考える!】

[http://fxgod.net/pdf/sonkiri\\_hikkakaru.pdf](http://fxgod.net/pdf/sonkiri_hikkakaru.pdf)



【PDFレポート】勝って兜の緒を締めよ

<http://fxgod.net/pdf/katekabuto.pdf>



PDFレポート

【香港で暴徒化して市民を困らせる民主化デモの  
「裏側」について考える!】

[http://fxgod.net/pdf/hongkong\\_minshuka.pdf](http://fxgod.net/pdf/hongkong_minshuka.pdf)



PDFレポート

【20歳で月収500万円】

FXの「天井と底」の哲学とは??

(逆張りがもっともリスクが低い、という考え方)

[http://fxgod.net/pdf/20year\\_500man.pdf](http://fxgod.net/pdf/20year_500man.pdf)



PDFレポート

【アメリカと日本と欧州を蝕む「物価上昇の本質」

について考える!】

[http://fxgod.net/pdf/bukkajoushou\\_honshitu.pdf](http://fxgod.net/pdf/bukkajoushou_honshitu.pdf)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

音声プレゼント

「人生を変える3つの方法」について！

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/jinseikaeru3tu.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆう音声プレゼント】

【「負けない技術」について考える！】

⇒

[http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai\\_skill\\_mp3/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai_skill_mp3/)

(MP3 音声です♪スマートフォンでもお聞きいただけますので  
気軽に聞けるように後ろに BGM も入れておりますので  
移動中や寝る前などなど、好きなときにお聞きください♪)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、今日は

**「実家暮らしは金持ちになりやすい？」**

ということについて考えて生きてみたいです。

というのが最近、日本では貧困化ってのがどんどん

進んでるのは間違いないですけども、

そこでなんとか貧困化の波の中でも、

貧困化せず、暮らせてるタイプの人たちってのが

いまして、

それが「実家暮らしの人」ですよね。

実家暮らしの人は家賃も、光熱費もなんだかんだ

かからないか、もしくはすごい安いわけでした

結果としてどんどんお金はたまるってのは知られています。

ちなみに今号の本当のテーマは

「実家暮らしが=悪 というイメージの刷り込み事態を

疑う」

っていうことであつたりもするんだけど、

というのは私はマレーシアに移住しているのですが

このマレーシアにいると結構驚く家族構成の違いってのが

ありまして、

「3代のじいちゃんばあちゃん、息子夫婦、子供たち」

みたいな昔ながらの、日本の家族形態で暮らしてる人たち

ってのがすごい多いのですね。

私としては 今まであまり

日本の核家族っていうことについては

そこまで考えてこなかったという反省はあるのですが、

マレーシアの現状を見ると・・・

「日本の核家族化って、本当に民衆の幸せになってるのだろうか？」

と最近考えてしまうわけですね。

というのは私の友人の

すごいお金持ちの投資家さんがいらっやって

彼が以前に私に

「日本の核家族化事態が、分断して

貧困化させる政策なんだ」

って教えてくれたんだけど

私なんかはマレーシアにいますから

「確かに！」なんて思って、最近よく考えるのが

今号のテーマなんです。

ちなみに、マレーシアなんかでは、

おじいちゃんとおばあちゃんと、あとは息子夫婦と

あとはその子供たち、

つてのが同居してる家庭が多いのですけども、

実際にマレーの若い人たちと話してると

そういう家庭で暮らしている30代~くらいの息子夫婦は

日本より断然 多いわけですね。

最近は 日本的な、核家族も増えてるようだけど

それでも、街を歩けば

おじいちゃんとかおばあちゃんを乗せた

アルファードから 息子夫婦と子供たちが降りてくる

なんて光景はよく見ます。

だからレストランなんかに行くじゃないですか？

そうすると、ほんと3世代と思われる

おじいちゃん、おばあちゃん、息子夫婦、子供たち、

みたいな組み合わせの人らが食事してるのを

まあほんと、よく見るんです。

マレーで生活しているとだから結構驚くというか

既存の常識を破壊されることは多くて、

あとはまた同じく見るのが 一夫多妻制の家族だったり

しますね。

家族形態自体が日本とはずいぶん違うんだな〜と

思うわけです。

ただこれが 傍から見ても、

結構楽しそうなわけです。

まあ子供たちが多いったのが大きいと思いますが、

とにかく にぎやか、です。



笑顔満開、なのです。

それで私なんかは日本人ですから、こっちでは

比較的裕福になってしまう外国人ですが、

ただ私なんかが行くお店なんかはマレーシアの人からしたら

物価は高いのかな、と思いきや、

結構そういう店でそういう家族と一緒にすることは

極めて多いわけですね。

まあそこで、大家族たちだったり、一夫多妻制の家族だったり

がみんな仲悪そうだったら今号は書いていないのですが

どう見ても楽しそうなんですよ。

まあ子供たちが遊びまわってすごい元気でして

笑顔が家族全体であふれてるってのが印象的です。

それでこのマレーシアでは現在普通である

3世代の 大家族の形態ですが、

たぶんこれがマレーシアの若い人が裕福な大きな理由なんだろうな、

ってのは感じるわけですね。

ちなみにマレーシアの大家族の人たちって

車は結構良い車乗っていたりするのだけど

それこそ、上に書いたトヨタとかアルファードとかは

マレーシアでは1000万円超えていて、ベンツより

高いのですが、

それでも普通にそれ購入して乗ってたりする

わけです。

私なんかはマレーシアに移住する前は

最近発展してるとはいえ、まだまだこれからの国だ

と思って移住したのですが

ただ実際は「なんかみんな金持ちじゃない？」

ってのは私が移住後に感じたことです。

若い人も結構旺盛に消費しているし、

車も大きなセダン車なんか普通に乗っているし、

よくスーパーマーケットでレジの前で並んでると

カートいっぱい、

大量の食品を購入してる人をよく見ます。

とにかく若い人が消費しますよね。

それで私は分かってきたんだけど

これはきっと 大家族であるってのが大きいのだろうと。

大家族であるから、家賃とか食費とか光熱費とか

限られますから、

そこでどんどんお金が貯まる構造がマレーシアの人たちには

ありまして、

(そしてマレー系は定期預金の金利が6%超える。

外国人や中華系は4%前後。)

だからどんどん裕福になってるのだろう、

というのは私が最近感じてる点です。

だからですね、ショッピングモールなんか

行くと、もう日本人の感覚からすると

「それ大金持ちたちの家にしかないような

ソファーだよね」

みたいな豪勢なソファーばかり売られているわけですが

これが結構売れてるんですね。

「マレーシアの人はどれだけ大きなソファァーが好きなんだ」

と突っ込みたくなるくらい、

そんな大きな巨大ソファァーが売れている。

それで、これも大家族であるから、世帯収入で暮らしているから、

そこで金銭的な余裕が発生するので

そんな豪勢なソファァーも沢山、

売れるってことなんでしょう。

しかもこれが 富裕層だけってわけじゃなくて

いわゆる中間層の人たちがそういう豪勢なソファァーを

買ってそれを家において生活してるわけです。

とにかく豊かになってきている。

ちなみにKLの世帯収入はおそらく2019年時点では

既に中間値では月間で30万円くらいになっていまして

おじいちゃんとかおばあちゃんも自営業やったりしますし

お父さんも働いてお母さんは専業主婦で働いていないか

もしくはパートなんかやってるでしょうから

それで世帯収入の中央値ってのが以前は28万円くらい

だったけど

もう30万円くらいにはなってるのではないか、

ってことですね。

これはマレーシアの物価は日本の3分の1ってのは嘘で

実際はもっと 安いものが沢山ローカルにはありますから

生活していると私なんかは5分の1以下の感覚ですが、

となると日本円で言うと世帯収入が100万円超えてる

みたいな感覚ですよ。

それは金持ちっぽい生活になるに決まっています。

あとはマレーシアの出生率って極めて高く、

子供だらけ、という言葉がぴったりなんだけど、

とにかく子供が多い。



日本の核家族だと、どうしても経済的にも

また子育て負担でも面倒見切れる人数ってのが

2人～3人ですから

そこで子供の数が実質制限されるものですが

大家族でおばあちゃんとかもいますからね、

だからその辺も影響していて

**子供が多い家庭は多いわけです。**

おばあちゃんは孫かわいいから孫と遊びたいってのが

ありますが、これがおそらくマレーシアのお母さんの

負担を大きく減らしてることでしょう。

だから私なんかマレーシアで生活していると分かってくるのが

大家族ってのは

出生率が高くなるのだけど、

そこで世帯収入で比較的裕福で、

そして子育てなんかもスムーズに行くことが多いのだろう

ってことですよね。

だからこの辺が、私がマレーシアに移住して

「母国日本の核家族化って何なんだろう」

って考えるきっかけになりました。

というのが、日本では核家族化であって

例えば「成人したら家を出て行くのが普通・立派っていう価値観」

が形成されてしまってると思うのですが、

これっておそらく近代の歴史がない価値観ですよ。

実際には日本でも私の祖父の家なんかがそうでしたが

大家族でした。

ちなみに私の祖父は亡くなりましたが、

祖父なんかは13人兄弟だったんですね。

超大家族です。

だから3世代どころか4世代の家だったはずなんです

もうそこでとにかく子供が多かった時代ってのが

日本にも昔はあって

その頃は核家族なんて形態ではなくて

大家族主体だったわけです。

そこで戦後なんかは、日本は貧しかったけども

世代間でまとまって、それで豊かになってきたのが

日本、ですよ。

ただここで核家族推進ってのが始まりまして、

マスコミなんかでも

「成人したら家を出て行くのが正しい価値観だ」

みたいなメッセージ性を持つ、そういった

コンテンツが沢山流れていたわけです。

洗脳とか扇動とかプロパガンダってのは

イメージ戦略でもあるのだけど

例えば「実家暮らしの大人」

って明らかに日本では「ダサい感じ」ってイメージ形成

されてますよね??

これ、私はすごい若い頃から疑問でした

どう見ても 核家族化で成人が家出れば儲かるのは

家を貸せる不動産業界だったり、

あとは電気事業者だったり、水道事業者だったり

それこそNHK受信料を新たに徴収できるNHKもそうでしょうが

既得権益側なわけです。

私なんかはだから結構20代のころなんかは

なるだけ1人暮らしの時期を遅らせたものですが、

だからぶっちゃけ貯金はすごく増えましたが、

それを元に投資やビジネスで資産も膨らみまして

結局私の親なんかはそれでまあ結果的にはうれしいはずなんです。

ただやはり日本だと、

「成人して家にいる人は半人前」とか

そういった価値観って強烈にあると思うわけですが

この核家族化を元にした価値観って・・・

結果見ると、貧乏な若者がどんどん増殖してるっていう

状態になっているわけですね。

というのが、私の友人ベースの話なのですが

やはり 実家暮らしでなんとか留まってる人ってのは

貯金がすごく多くて、

一方、1人暮らしなんかをかなり早い段階で

始めてる人なんかはとにかくお金がなくて困ってる

っていうのはあったわけです。

ちなみに・・・私の友人の投資家さんで

元々 日本を代表する自動車メーカーで働いていた人が

いまして 上にそのメーカーの車種も書いてますが

彼は30代なんだけども

彼に聞いたら サラリーマン時代、まさに

日本を代表する大企業で働いていたけど

友人の正社員たちで、20代後半で貯金が

300万ある人なんて滅多にいなかったと、聞きます。



「日本を代表する、大企業でさえ

貯金が300万円さえ20代後半で

貯まってる人って実は少ない」

っていう衝撃事実なんだけど、

これは実際は当然で、大企業の正社員でも

手取りが20万円台後半なんですね。

聞いたのが26万円とか28万円とかその辺。

ただ一応ボーナスがあるので年収的には

400万円～500万円くらいにはなるらしいのだけど

なんだかんだ1人暮らしだと使ってしまうから

みんな貯金できていない、って内部の話を

彼に聞いたことがあります。

ただ彼いわく「例外」があるらしくて

「実家暮らしの友人」ってのは

もう貯金が1000万円超えてる、みたいな話を

聞いたらしくて

だから「実家暮らしの人は金持ち」っていうのを

私は実際に トから始まる自動車の大企業に正社員で

勤めていた彼に聞きました。

だから、どうも労働者の状況として

実家暮らしは金持ち、

1人暮らしは結構カツカツってのが

現状の日本ですよ。

例えば1人暮らしをすれば年間で100万円前後は

家賃でもってかれるわけですが

実家暮らしはそれがほぼかからない・・・

っていうことを考えると、

キャッシュが外に流れることが少ないわけですから

当然実家暮らしだったり

3世代家族の若者が

お金持ちになるわけですね。

よくよく考えると当たり前のことですけども。

ただ日本のマスコミ報道を見ると

「実家暮らしの大人=悪、レベルで」報道が

良くされてますよね。

殺傷事件があったら、大体引きこもりの

実家にいた大人であった、

とか、よくそんなのが好んで報道でピックアップされる

と私は感じます。

「実家暮らしのニート」なんていうと

印象は日本では最悪ですよ。

けどマレーシアでは「成人が実家暮らししているのは

当たり前」

のことであるからそれは批判対象ではないわけですし、

普通なことなんですよ。

むしろ「家族仲良しでよいこと」というイメージだったり

します。

実際に家族ってのは血でつながってるわけですから

離れ離れよりも、

一緒にいたほうがよいことが多いわけでした

特に上に書いたように、子育てなんかが入ってくると

おじいちゃん、おばあちゃんがかわいい孫の面倒みたり

教育もしてくれたりするから

それは おじいちゃん、おばあちゃんもうれしいことで

母親もうれしいことなわけです。

ここではよく日本で問題になってる

共産主義をベースとするフェミニズムの方がおっしゃる

家事の分担なんかは問題にならないわけですね。

ちなみに日本の核家族では必ずこの

フェミニズム的な平等主義から来る、最近の

家事分担うんちゃらで 問題が発生するわけで

男女間で必ず争いが起こるわけでした

それはまさに私が育ったのが核家族でしたから

それは目の前で見えてきた光景です。

私なんかは子供の頃、いわゆる当時「かぎっ子」

と言われたんだけど、

家では父も母も働きに出ているから、

誰も家にいないで弟と2人で暮らしていたわけですね、実質。

母も正社員ですから、となると

父も母も家に帰って来るのが20時～21時が

当たり前ですから、

もう家には子供しかいない、みたいな家庭で育ったけど

これはどう見ても私は経験したけど、

うまくいかない。

だから子供の自分たちが

父と母と話す機会なんてまずないですし、

こうやって家庭ってのは崩壊するのだ、

っていうのを私なんかは子供時代によく自分の目で見て

理解してるわけです。



それで私は大人になってマレーシアに移住してるけど

そこで見るのは

大家族で幸せそうな家族たちです。

ここで「一体なぜ、日本では核家族化なんかが普通

とされてしまったのか」

とよく最近考えてるわけですね。

実際は、国家為政者たちが 「分断して統治せよ」

といういつも通りの戦略に沿って

家族というのでも分断したってのが正しいところでしょうが

ここで日本の場合は、

全ての家族たちが核家族っていうことで

私含めて、別々に暮らしているってのが当たり前になってる

わけですね。

それで私は最近それを疑いだしてるってことです。

それでよく考えると20歳やそこらで

自立しよう、ってことで

親元から離れる人も多いのだけど

そうなるはず 実際の手取りは17万円くらいだったり

しますが

ここにこの若者に 光熱費とか、家賃とかが

どんどん襲い掛かってくると。

となるとそれ以外に消費できるのは10万円あるかないか

になりますけども、

これは若者の貧困化にダイレクトに直結しておりますね。

実際に、私が日本にいたとき感じたことなんだけど

20代の女性で、水商売やってる人ってすごい増えてる

わけですけど

最近だとその水商売も自営業者みたいにパパ活とかに

なってきましたが、

ただこうでもしないと1人暮らしで若い女性が  
暮らせる手段はなくなってるのだろうということですし、

もうお金に困ってる女性なんかは私は日本で  
度々接してきました。

普通にOLなんかしていても、実際は  
家賃が7万円とかのところに住んでますから  
そこでまた敷金礼金なんか40万円くらい最初にかかりますが  
これは借金して払ってるなんて人も多いわけですね。

ただここで 核家族化で儲かっている業種は何かってのも  
見えてきますが

やはり不動産は儲かってますよね。

1人暮らしの人が新たに

お金落としてくれるんですから。

一方、大家族であると不動産の人たちってのは

儲からないわけですし、

新しい一人暮らしでマンションとか借りてくれる人が

減ってしまいますから

そうすると

「自分でひとり暮らしして一人前」っていう価値観事態

どうもおかしいものであるってことになります。

その価値観で損をするのは若者であって、

そして一方儲かるのは新たに搾取できる対象を増やせる

不動産業とか、電気事業者とか、水道事業者であったり

しますよね。

あとはそれ以上に、

官僚機構の特徴ってのがありまして

これは副島隆彦先生の先生である大思想家の

小室直樹先生が分析されていたことですが

官僚機構ってのは

「民衆が貧しくなればなるほど、

権限を拡大する」

ってのが歴史の重要なところなんです。

民衆が豊かな国だと、官僚機構ってのは増長できない

わけですけど、

民衆が分断されて貧しくなればなるほど、

官僚たちは強くなる、んですね。

それで戦争なんかを見てもみれば分かりますが、

どの国も必ず戦争の前に 貧困 っていうのが起こってる

わけですが

ここで官僚機構なりの行政が

増長して戦争を始めるってのが

セオリーですよ。

これは政治学の重要な部分で

行政（日本でいうと官僚機構）と

民衆の利益ってのは相反関係にある

ってというのが前提となって分析が開始されますが

ここで民衆が貧しくなればなるほど

官僚機構はうれしいわけです。

これが日本人が教えてもらっていないことですが



日本人は義務教育で

「行政は民衆のために動いていて、

民衆が豊かであればうれしい、という嘘」

を教えられるんだけど

だから行政と民衆の利益が共同してる、みたいな嘘を

教えられるのが義務教育の本質なんだけども、

実際は政治学では 民衆と行政ってのは利益相反する

んです。

民衆と行政を唯一つないでるものは税金でして、

だから

**「国家とは税のことである」という哲学の話になるんですね。**

**税金以外では、民衆と行政ってつながっていないわけです。**

実際にこれは大人になれば分かりますが

行政からあなたに連絡があるとすれば

確実に税金のこと「だけ」ですよ？

税金を取ること以外で行政が民衆に直接絡むことはない。

**それで税金がこの数年どんどん日本で上昇中ですが**

**そこで民衆は苦しむんだけど**

**一方公務員給与とかボーナスは7年連続アップとなりましたが**

これは利益相反してる分かりやすい事例ですよ。

それで民衆が貧しくなればなるほど、

行政の官僚機構は増長しやすいってのが

政治学の重要なところなんだけど

そういう視点で考えてみると、

「核家族化を進めていけばいくほど、

現状の日本のように貧乏な若者が増殖していったら

支配しやすい」

ってのはありそうです。

だから私は東大出身の官僚たちの頭の良さは

舌を巻きますが、

まさに「分断して統治せよ」ってのが

イギリスの諜報機関たちの統治戦略なんです

ここで「分断」ってのを家族自体までに広げていったのが

官僚たちですよ。

すごい。

それで官僚たちは記者クラブでメディアを押さえ込んでますから

ここでいくらでも

「実家暮らしの大人は危険」とか

「実家暮らしの人はかっこわるい」とかの

価値観を作り出せるわけです。

これはまさに日本の大人の誰も疑わない価値観になってる

と私は感じまして、

実際に「実家暮らし＝ダサい」みたいなイメージ形成は

日本では、されていますよね？

そしてその 脳内でプロパガンダによって

形成されたイメージに従って、

多くの人は行動しておりますから、

そこで核家族化、1人暮らしの人ってのは増えてますし

私だってその中の1人なんだろう、

とマレーシアにいるとを感じるわけです。

ちなみに、これは思い出すと

私が若い頃、よくマスコミがしつこく扱っていたのが

「嫁、姑問題」ってやつでした、

あれはプロパガンダとして

「どれだけ大家族がダメで、面倒くさいものか」

「みんな核家族になっていこう」

っていう**プロパガンダ**になっているわけですが、

だから特に多くの家庭では嫁さん側が

姑と一緒に暮らすのはいやだ、

という価値観が形成されてるわけですね。

ちなみにこのプロパガンダは日本だけではなく

韓国でも見られるもので

韓国なんかのテレビでも最近、やはり

核家族化を進めるためだろうと思いますが

上記のようなテレビ番組が時々

放送されるようになってました。

だからどうも旧来の家族形態を解体するっていう

大きな思想が存在してまして、

これは以前もちよつと書いたことがあるんだけど

それが先進国では進んでるのでしょうか。

共産主義なんかでは家族制度ってのをなんとか解体しよう

とするわけですが

(最終的には子供は家庭の子供じゃなくて

「国家の子供」=ロボット子供とする、思想がある。)

東大出身の官僚たちの大多数は左でマルクス主義の

共産主義信奉の人が多いですから



ある意味 思想に沿った行動として

核家族推進ってのがあつたろう、つてことですね。

私なんかは

この辺は今まで実感を伴つて理解できていなかった

部分だと思ひますが、

マレーシアに来て

「大家族が主体となつて形成されてる社会」

を経験してみても、

母国の日本が上記のように核家族化で

貧困化してるのだな・・・

てのは実感を伴って、気づいた感じですよ。

ちなみに、ちょっとしたことなんだけど

大家族だとどうなるか？って言う話なんだけど

それこそ家賃とか光熱費とかも折半で安くなって

子育てが楽になるってのは

当然あるんだけど、

例えば最近だと GRAB フードって行って

ウーバーイーツみたいなものですね、

それがマレーシアではすごい流行しています。

配達費用が100円くらいだから

まあ安いので、

レストランで何かオンラインで注文して

そのレストランで注文したものを

デリバリーしてもらえるわけです。

ここでも、大家族だとその配達費用ってのが

100円ぽっきりしかかからないわけですが

これが核家族だと、このデリバリー費用ってのは

それぞれ別にかかるわけですね。

まあだから大企業は

大家族だと、色々儲かる機会は減るのは事実だろうけど

民衆は大家族だと色々家計にとってメリットが多いのだろう

ってのは暮らしていても感じます。

あとは、日本でもあるかもしれませんが

マレーシアだと携帯電話一つとっても

「ファミリープラン」ってのが結構ありまして、

携帯電話なんかも家族でまとめて使うほうが

断然安くなる、んです。

家で光ファイバー引いてる家ですと、

家族で月50リンギットくらいで5GBデータ使って

だから日本円で月1200円~2000円くらいで

「家族で」 SIM複数持って

携帯電話使えるプランも出てるわけです。

データが足りなくなったら都度、

数百円払ってその家族でシェアしてる

データ量に追加できるのですが

そうすると 家族それぞれがスマホ携帯を持っても、

大体月当たり1人数百円で携帯電話を使える

って話になります。

あとは当然ですが自宅だとWIFIインターネットが

通常ありますから

それが仮に光ファイバーで月5000円としても

家族全体で使うわけですから

これも同じく1人あたりのコストは相当安くなりますよね。

逆に核家族だとそれぞれの家に光ファイバーいれたり

するわけで 大家族の倍かかるわけですから

そう考えると、マレーシアでは大家族が社会の主体である

ってのは効率的だな、と思った次第です。

ということで私なんかはマレーシアと母国日本を比較することは

多いのですが

どうも・・・

日本の核家族化とか、

あとは1人暮らしが当たり前でかっこいいみたいな

価値観って見直されてもよいのではないかな

ということですね。

家計という部分でその家計が

じいちゃん、ばあちゃん、息子夫婦と別の家族と

家計が3世代合同の家族ですと、

おそらく後者のほうが経済的には強いですね。

それこそ1人あたり食費も安いかと思います。

それで日本だと実家暮らしの人らは貯金が増えやすい

わけですが、

まあ色々家庭事情もあるから

全員が全員 実家暮らしはできないでしょうが

それが可能な人は極力 マレーシア的な

実家暮らしが多くの中で

よいのではないかと個人的には思った次第です。



そしてそれこそ上に書いた嫁姑問題とか、

(けど大多数の日本人はその辺  
最近のマレーシア人と同様うまくやっていたはず)

あとは実家暮らしの成人 = 危険

みたいなマスコミ報道、プロパガンダがありますが

これ事態、民衆を貧困化させるという

大きな作為が働いてる可能性は極めて高いですから

やはり最後に頼れるのは血縁ってのがありますから

その血縁がある若い人は、

それを活用するってのも考え方の一つかと思いました。

まあ日々生きてると考えることがあるのですが

この家族形態ってのは国ごとでも違うものでして、

色々考えるきっかけがあって面白いですね。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみにですが、マレーシアでは

大家族が主流だけど、

そこで仮に「家庭にお金を息子夫婦が入れる」

みたいなことをしても、

それって結局最終的に息子夫婦に返ってくる仕組みです。

仮に息子夫婦が じいちゃん、ばあちゃんの口座に

お金を入れたとしても、

結局最終的にはマレーシアってのは

相続税がゼロの国ですから

結局長い目で見ると

じいちゃん、ばあちゃんが亡くなった時

相続で息子夫婦に戻ってくるわけですね。

だから家族間のお金のやりとりにおいて

国家官僚たちが税金で家族から

収奪するということがない国なので

そのお金の配分でもおそらく

世代間の争いが生まれづらいのだろう

と思います。

ちなみに、これは色々な意見があるでしょうが

実家暮らしで、

子供にお金を入れることを求めるケースが

日本では多いわけですが

長い目で見ると生活にカツカツの家族以外は

結局 祖父、祖母世代が亡くなった時、

その残った資産額に対して再度そのお金に相続税が

息子、娘たちにかかる

わけですから

そうなると、長い目で考えると、

息子や娘たちが稼いだお金を家に入れるってのは

よさそうに見えて、大家族前提ですと

税金的には 息子夫婦たちが所得税などを払った

残りで消費してるわけですが

そこにも最終的に相続税で

2重課税されることになるから、

少し疑問符がつきます。

そう考えるとネット上で最近言われてる

「実家暮らしで家にお金入れないスタイルが

資産が一番大きくなる」

という言論は、

私たちの常識では 人としてどうなのか、とってしまった

そういう感情がありますが、（そういう感情を植えつけられてるけど）

よくよく税制を考えると合理的、とも思えますし

それは国家官僚の税金による収奪に対する

せめてもの若者の抵抗言論でしょう。

だからまあ実家暮らしってのは、

日本だと ダメな成人、みたいな価値観が形成されてるけど

それ自体、プロパガンダで近年形成されてる価値観ですから

見直して考えることも大事かと思った次第です。

では！

追伸2・・・あとはマレーシアのビザなんかに

その国の考え方は反映されてまして、

マレーシアのビザとかだと

それこそ一家の息子がビザを取れば、

そのビザは配偶者と、子供たちにも与えられるわけですが

それと同時に、その息子の親、にも

ビザが出るんです。

だから「3世代で暮らせるようにしてる」ってのが

マレーシアのビザにおいては特徴的ですが、

そっちのほうが子供も増えますし



民間経済が 狡猾に豊かになって

早く先進国になれるっていう考え方なんでしょう。

そういう意味ではマレーシアってのは

相当よく考えて各政策を行ってる国だな、というのは

感じますね。

要するにあらゆる部分で、民間は分断されれば

貧しくなるから、

その分断をなるべく防ごうとしてるのがマレーシアの姿

ですが

一方その分断が進んでしまってるのが日本でしょう。

核家族だらけで、隣の家とも会話も挨拶もしない

ってのが平成あたりから

日本では普通になってきていると思うけど、

令和の時代は、その辺を考えることも大事になりそうだ、

と分断された末期のような家庭で育った私は

最近考えております。

追伸3・・・だから日本の社会ってのは

それぞれの家族が核家族で分断されだしてるんだけど、

そこで民衆が一丸となって行政と対抗できないように

構築されてるっていえます。

ただここで共産主義には全体主義ってのがつき物なんだけど、

民衆がそれぞれ分断されてるから、

そこでプロパガンダが 個々の家庭に行われて

それで個々の家庭はそれぞれあまり交流がないんですが

分断されてるからうまく操れるわけで、

それが行政の都合のよいように

全体主義化するんですね。

例えば日本では「若者 V S 高齢者」の戦いってのが

ありますが

これはよく、自動車事故で言われますが

これは大家族主体のマレーシアではまず成功しない

プロパガンダです。

「いや、じーちゃんも運転しないと生活できないだろうよ」

と息子夫婦たちが怒る。

が、日本の場合はうまーく 世代間分断というものも

進んでるから、

ここで官僚たちが増長する仕組みですね。

だから私なんかは若者に当たりますが

それでも高齢者批判ってのは 官僚の思う壺であるから

なるべく避けるようには意識してます。

本来高齢者も若者と対立していないわけで

高齢者から私たち若者は学べるし、

また高齢者は若者を潰すのではなく

その感性豊かな若者から学べる部分はあるわけです。

(相続税てのはこの 高齢者と若者を分断する税政策です)

また同じく男と女も分断しておりません。

私は女性が大変好きですが、

やはり男と女は人類の歴史を見れば持ちつ持たれつで

助け合ってきたし、戦う対象ではない。

また金持ちも貧乏層もそうであって

従来金持ちが貧乏層に商売を教えて社会は発展してきたし

文化も芸術も金持ちたちが育ててきたのは事実です。

すなわち社会にあるちよつとした対立を

拡大させて、それで支配する、

つてのが日本における社会政策として

取り入れられてるわけで

嫁VS姑対立ってのも

その中の一つで、これは家族分断の政策でしょう。

ちなみに、私はマレーシアのマハティール首相、

および韓国のムンジェイン大統領の言うことは理解してるんだけど

彼らは共通して「民族間が、分断されるべきではない」

と主張したのですよ。

今マハティール首相はまさに 分断と戦っている。

また、韓国のムンジェイン大統領も私は選挙を見に行ったけど

彼は「右と左で分断しようとする人たちがいる

が本来民族は分断されていない。」

と分断を批判した人で、若い韓国人の私の友人たちは

「パククネは常に私たち（ウリ、と韓国語では言う）

を分断させようとしてきた。だからムンを支持する」

と言っていた。

だから大きくは

家族間の

嫁VS姑 とかの世代間対立や

若者VS高齢絵者とかの世代間対立や

金持ちVS貧乏層とかの経済対立や

右VS左とかの思想対立や

男VS女とかのジェンダー対立や

多くの対立が日本にはありますが、

それ自体、官僚機構の民衆支配の政策だ。

そしてその「同じ民族間の対立」を日本で

扇動してるのが官僚の手下のマスコミです。



たぶんこれからの政治家や、また

起業家や投資家など社会のリーダーたちの

仕事は

一度分断された民族間を融合させていくことでして、

それで初めて、

「唯一分断されてる 民衆と行政」

の構図があるのですが

ここに人々に気づいてもらうということでしょう。

とりあえず民衆が分断されて最終的に

得をするのは

官僚と、そして官僚と癒着する大企業だけです。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**【ゆう音声♪】なぜアメリカには国民の3大義務がないのか？**

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/us\\_sandaigimu/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/us_sandaigimu/)

**(音声MP3ですのでスマホでもお聞きいただけます♪  
また音質も調整してるので聞きやすくしております～)**

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆